

そよ風



どくえい
【特集】「読影」ってなに？

【TOPICS】

表紙のあの人

カラダに美味しいレシピ〈その10〉

能登半島地震の被災地へ救護班を派遣しました

令和5年度 出前講座 3月

出前講座レポート

イマの庄原日赤

特集

「読影(どくえい)」ってなに？



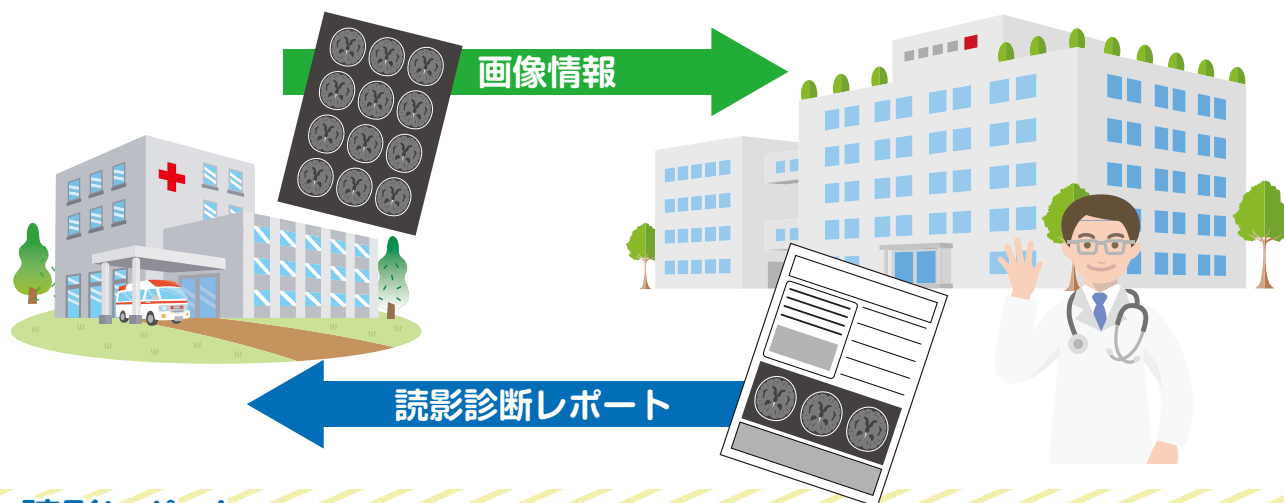
読影とは、CTやMRI、レントゲン写真などで撮影した画像を高精細モニターで見て、病気の有無や程度を診断して、画像での診断に繋がる報告書を作成することです。そして、その画像での診断を専門的に行う専門医のことを「読影医」といいます。

画像での診断は、実際に体の中を見てみないとわからない腫瘍や梗塞などの病気を見つけるための技術として重要な役割を果たしているため、治療方針の決定には大きな関わりがあります。読影医は、画像診断のためにあらゆる情報を駆使しながら画像を読み取ります。

遠隔読影

病院で撮影したCTやMRI、レントゲン写真などの画像を、ネットワークを利用して読影医がいる施設へ画像データを送信して画像診断をすることです。

庄原赤十字病院では、岡山大学病院の画像診断センターと連携して、庄原赤十字病院で撮影した画像を岡山大学病院へ送り、診断結果を送り返していただく体制を取っています。経験豊富な読影医に、専門性と経験を駆使して読影をしていただいています。



読影レポート

撮影した画像と検査目的などの情報を、ネットワークを利用して岡山大学病院へ送ると読影医が診断した結果が文書化され「読影診断レポート」が庄原赤十字病院に返信されます。

この読影診断レポートには、異常な箇所の指摘や、考えられる病気、病気の進行具合などの情報が記載されており、診療現場の医師が診断や治療方針を決定する上で重要な根拠となる文書なのです。

現場の医師と読影医、複数の医師が協力して診断することで、診断の精度を高めることができます。

今や、読影は医療の質を保つためには欠かせないものなのです。

▶ 基本理念



庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

▶ 患者さまの権利



患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に務めます。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。 | <ul style="list-style-type: none"> 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。 |
|---|--|



ハートちゃん

表紙の“あの人”

薬剤部 薬剤師 **石井 佑佳 / 福永 真実 / 海渡 遥菜**



私たちは薬剤師として働いています。処方箋に基づきお薬をお作りしたり、注射薬を混合したりしています。その中で、外来患者様や入院患者様のお薬の量が正しいか、他のお薬との飲み合わせに問題がないかなどを確認し、お薬をお渡ししています。正しいお薬を、正しい情報とともにお渡すことを大切にしています。



患者様の中には、様々な医療機関を受診されている方もいらっしゃると思います。「お薬手帳」を一つにまとめ、お持ちいただくことで、重複投与（全く同じ効果のお薬が異なる病院から出てしまうこと）の防止や、相互作用（一緒に飲まない方がよいお薬）を確認することができ、安心・安全な治療を受けていただくことができます。受診される際は、ぜひ「お薬手帳」をお持ちください。

～栄養士からレシピのおすすめ～

カラダに**おいしい** レシピ その10

【1人分栄養価】
184kcal
 ◎たんぱく質 9.2g
 ◎脂質 11.7g
 ◎食塩相当量 1.7g

牛肉と大根の
豆板醤炒め



◆材料（4人分）

牛もも薄切り	160g	大根葉	40g	豆板醤	12g	食塩	2g
大根	400g	ニンニク	10g	みりん	10g		
こんにゃく	120g	濃い口しょうゆ	20g	サラダ油	8g		
人参	80g	料理酒（無塩）	20g	ごま油	8g		



◆作り方

- ①大根、人参、こんにゃくは食べやすい大きさに薄切りにする。
- ②大根葉は食べやすい大きさに切る。
- ③中華鍋（またはフライパン）にサラダ油とニンニクを入れ、火にかけ香りを出す。
- ④油が熱くなったら牛肉を入れ、色が変わるまで炒める。
- ⑤塩を加え、肉に下味をつける。
- ⑥大根、人参、こんにゃくを加え、軟らかくなるまで炒める。
- ⑦濃い口しょうゆ、料理酒、みりん、豆板醤を混ぜ合わせ、⑥に加える。
- ⑧調味料の水分がなくなったら、大根葉を加え、しんなりするまで炒める。
- ⑨ごま油を加え、香りが立ったら火を止め、盛り付ける。

能登半島地震の被災地へ救護班を派遣しました

甚大な被害が出ている令和6年能登半島地震の被災地で救護活動を行うため、当院の救護班（医師2名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名の計8名）が日本赤十字社広島県支部救護班第2班として令和6年1月10日から1月15日まで派遣されました。

出発にあたり、中島院長から「現地では多くの被災者の方々から苦しみのなかで、医療の手が待ち望まれています。庄原赤十字病院の代表として、奉仕の心による十分な働きと、そして何よりも無事の帰還を心から祈っています。」との激励があり、班長の鎌田副院長は「安全面にも充分配慮しつつ、人道・博愛・奉仕の赤十字精神に基づいて、現地で必要とされていること、我々ができることをしっかりやって参りたいと思います。」と挨拶し、多くの職員に見送られながら現地へ向け出発しました。





令和5年度

出前講座

庄原

▶子宮頸がんについて (頸がんに関してヤクチンについて)

- 開催日 令和6年3月14日(木) 14:00~15:30
- 場所 庄原市ふれあいセンター
- 対象者 一般市民の方
- 講師 産婦人科部長 てらもと ひでき 寺本 秀樹

比和

▶お薬のお話

- 開催日 令和6年3月14日(木) 13:30~15:00
- 場所 比和自治振興センター
- 対象者 一般市民の方
- 講師 薬剤部主任 やまもと あきこ 山本 明子

各講座お問い合わせ

■庄原市 保健医療課 健康推進係 0824-73-1255 ■比和支所 地域振興室 市民生活係 0824-85-3001

2023.12.8 出前講座レポート



「花粉症は症状が出てから治療すればよい? 答えは「No」。早めに受診して対応することで重症化を防ぐことができます。」

参加者の前で講演しているのは、庄原赤十字病院耳鼻咽喉科部長の 尾野里奈先生です。

令和5年12月8日(金)、庄原市ふれあいセンターで開催された「出前講座」では、これから本格化してくる花粉の時期を

前にして、「花粉症の治療と対策」についてお話をいただきました。

参加者からは「花粉対策でマフラーは悪くないけど、毛糸製などのふわふわしたものはかえって花粉を吸い込む可能性があるんですね。気を付けたいです。」などの声もありました。

庄原赤十字病院の職員が講師となる出前講座の予定は、広報誌「そよ風」で紹介しています。気になるテーマが見つかったら、是非参加してみてください。



お知らせ イマの庄原日赤

令和6年1月現在

▶ご来院される方へ

来院時はマスクを着用していただき、入館前には必ず手指消毒と検温をお願い致します。

また、来院前に、熱・風邪症状、味覚嗅覚異常などがある場合は検温場所でも職員へお声がけください。

お問い合わせ

☎0824-72-3111



▶病棟での面会

新型コロナウイルス感染症に伴い、「面会制限」を行っています。

- ◆原則、家族1回2名とする(中学生以上)
- ◆面会時間は、13時から17時まで(15分以内)

◆受付場所は、平日(医事課受付①②) / 土日祝日(ポプラ前防災センター)

※状況により、面会の可否を変更する場合があります。

面会でご来院の方は、窓口にて確認をお願い致します。

面会制限

一部制限があります
ご確認ください

